

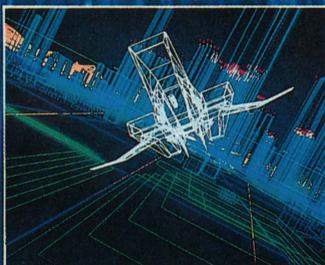
84年夏 SF新世紀

未知なる映像は光速で飛来する



LENSMAN

SF新世紀 レンズマン



史上初！日本・アメリカCG技術が挑む壮大なプロジェクト！

制作 ■ 講談社 **TOWA** 東宝東和提供

製作 ■ 須藤 博/監督 ■ 広川和之/監督・絵コンテ ■ 川尻善昭
作画監督・キャラクターデザイン ■ 富沢和雄/撮影監督 ■ 八巻 肇
メカニックデザイン ■ 渡部 隆/脚本 ■ 吉川惣司
原案 ■ E・E・スミス(レンズマンシリーズより)

製作協力 ■ エムケイ/マッドハウス
技術協力 ■ ニューヨーク工科大学CGL
ジャパン・コンピュータ・グラフィック・ラボ/CRC
東京工業大学像情報工学研究施設 安居院・中嶋研

7月7日(土)より(夏休み)ロードショー

有楽町・東宝映画街
ニュー東宝シネマ1 (571)
1946

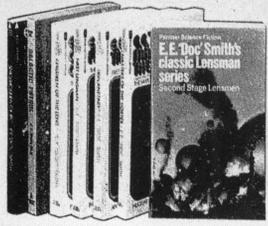
「SF新世紀」に向って 驚くべきシナリオが進行している

●ボスコーン襲来ノ立ち上レ(レンズマン)ノ選ばれし者たちよ

無限の可能性を追求ノ
すべてが新記録ノ

現代最高のハードウェアとソフトウェアが開発した驚異のC・Gシステムとは ①フラクタル隕石や自然物をリアルに描く ②フル・シェーディング・イメージ異次元シーンに使用 ③ワイヤームレーム(レンズマンのディスプレイ) ④ソリッド・モデル(フリタニア号など) ⑤スプライン(戦闘シーン) ⑥レイ・トレーシング(タイトル) ⑦テクスチャ(質感) ⑧マッピング(C・Gの立体にC・Gの絵を貼る) etc.、未知なる映像が、いま次々とインプリントされている

誰もが《夢》に止どめていた物語……
あの「レンズマン」をついに映像化ノ



25世紀、大銀河連合は凶悪な独裁帝国ボスコーンの脅威にさらされていた。宇宙の平和と秩序を守るため、銀河パトロール隊は光速艦フリタニアを建造、(レンズマン)と呼ばれる最強の戦士たちに特別任務を命じた……

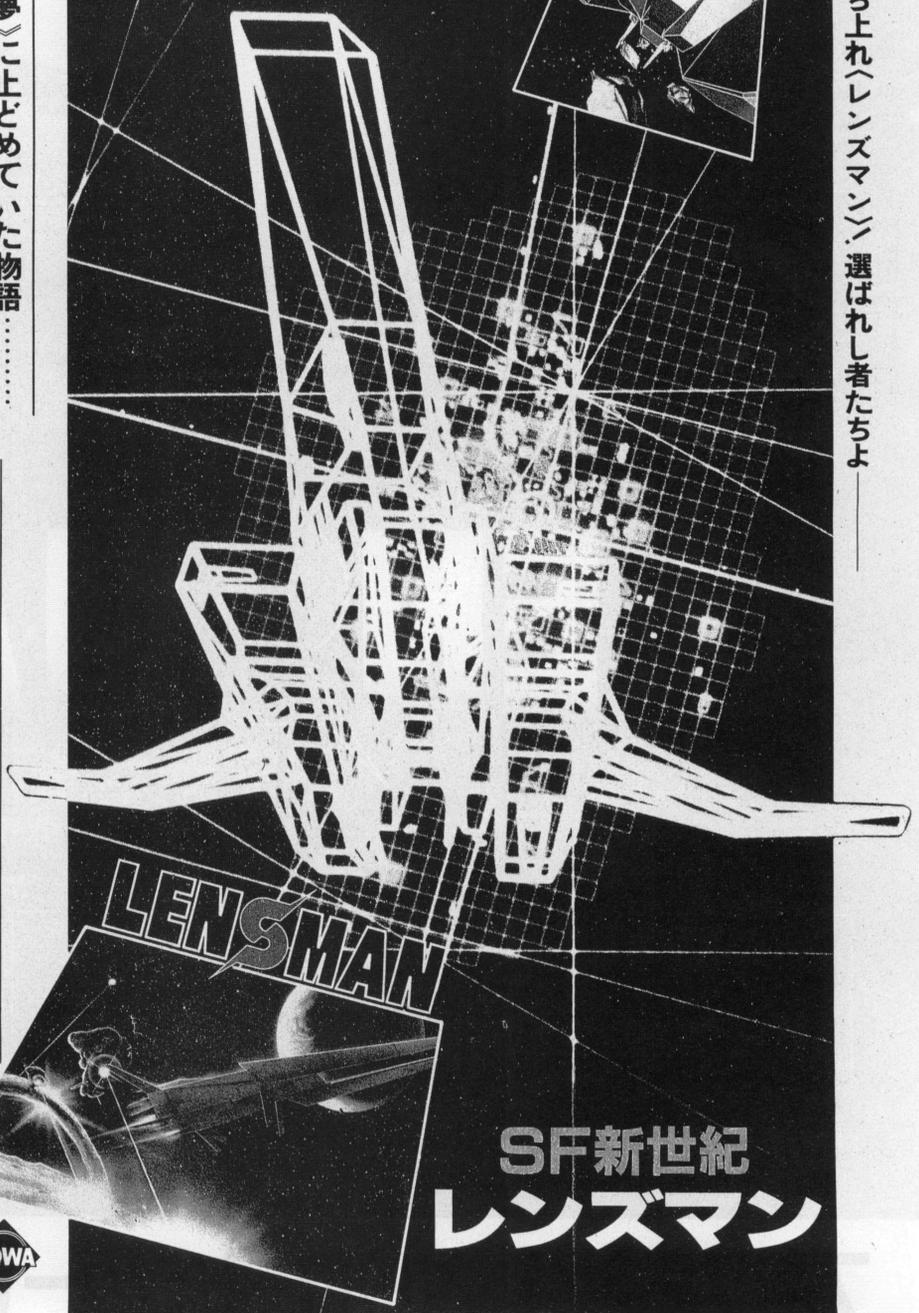
1934年の発行以来、全世界を熱狂させたSF史上空前のベストセラー

チャー・ロマン「レンズマン」E.E. Smithによるシリーズは、48ヶ国で翻訳され幅広い人々を魅了してきた。しかし、あまりに壮大なスケールと、今までの映像技術では表現できない超次元のストーリー展開のため今日まで映画化は不可能と言われていた。その《夢の映像》に挑んで4年、直接製作費12億円を投じて創りあげたのが、この『SF新世紀・レンズマン』である。

時代が望んだノコンピュータが応えたノ
日本・アメリカ初のC・G技術協力ノ

スタッフには日本・アメリカ最先鋭の頭脳と技術が結集している。ニューヨーク工科大学コンピュータ・グラフィック・ラボが、ワンカット5000万円もする映像を生み出し、ジャパン・コンピュータ・グラフィック・ラボは、日本に2台しかないスーパー・コンピュータ「CRAY-1」を初めて使用記録破りのスケールで投入

されているこれらのC・G技術に、日本が世界に誇るSFアート、デジタルサウンドがドッキングノまさに現代科学技術の粋がここに集まったのだ。質量ともに、これだけ精緻な、これだけスピード感あふれる映像は、かつて生まれなかった。いま「SF新世紀・レンズマン」と共に、夢を体験させてくれる時代がやってくるノ



SF新世紀
レンズマン